

しなののうた

露なる梅の木肌の裂け目より
花を見つけし夫は足止む

l.MI

杉田小百合

しなののうた

麻酔覚めきみは誰だと夫の声

むなしさ募り戸惑いおりぬ

杉田小百合



しなののうた

幼描く絵はピカソだと夫は笑み

枕辺におき常に眺めし

l.MI

杉田小百合

しなののうた

泥のつく雪の中より掘りだせる

株菜を求む鬼無里の郷に

杉田小百合



しなののうた

漬物に凍み大根や煮豆など
どれも懐かし母の味する



杉田小百合